

10月20日は
世界骨粗鬆症デー



ブルー ライトアップ CCMC

10月20日

17:00～21:00 (予定)

【世界骨粗鬆症デーとは】

1998年に国際骨粗鬆症財団(IOF・本部スイス)と世界保健機構(WHO)の共同により骨粗鬆症と骨代謝障害の啓発を目的として制定されました。「世界中から骨粗鬆症による骨折をなくす」ことを目標に世界規模でキャンペーンを展開しています。その啓発活動の一環でIOFのシンボルカラーのブルーライトアップが各地で行われています。当院、千葉中央メディカルセンター(CCMC)でもこの活動に賛同し、左記日時に正面玄関付近をブルーライトアップいたします。

【当院での取り組み】

2022年に骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS)委員会が設立されました。リエゾンとは「連絡係」と訳され、診療におけるコーディネーターの役割を意味します。その目的は、最初の骨折への対応および骨折リスク評価と、新たな骨折の防止、また最初の脆弱性骨折の予防であり、サービスの提供対象は大腿骨近位部骨折例、その他の脆弱性骨折例、骨折リスクの高い例や転倒リスクの高い例が対象となっています。

OLS委員会を中心として多職種で連携し、日々大腿骨近位部骨折やその他の脆弱性骨折(腰椎圧迫骨折など)への早期介入、骨粗鬆症予防・治療の啓蒙活動に行っています。

OLS 活動理念

STOP AT ONE

～最初の骨折を最後の骨折に～

